



漁船の海上パレードに人気が集まりました。さあ、出港!!



「ハイ、買った」タコや鮮魚の競り売り体験



荒磯太鼓で景気をけます



水上バイクに子どもたちも笑顔



約5,000人の来場者で終始熱気に包まれた太田名部漁港



中央区 三船製菓 ☎ 35-2020



多彩な海の魅力満喫

6回目を迎えたふだいまるごと海産まつりが10月7日、太田名部漁港で行われ、約5千人が多彩な普代の海の魅力を満喫しました。午前10時、ふだい荒磯太鼓で幕を開けたまつりは、小中学生の鶴鳥

神楽や民謡ショー、水上バイク体験など多彩な催しを展開。取れたての魚介類の競りや漁船パレード、矢巾町から寄贈された3千個のもちまきなども行われ、会場は終始熱気に包まれました。

ふだい
まるごと
海産まつり

北緯40度 そぞろある記



心搖さ振る歌声響く

野田、普代、田野畠の三村の合唱グループ三団体で構成するコーラスライオット風（森田眞奈子代表）の第19回定期コンサートが10月20日、村自然休養村管理センターで開かれました。

コンサートには同団体と盛岡市の混声合唱団



「北声会」も参加。「誰かが小さなベルをおす」「しゃぼん玉」「おれの北緯40度」など20曲を披露し、約100人の観客から大きな拍手を受けました。昨年に続いて三陸鉄道をテーマにした「さんてつでんしゃのうた」の合唱もあり、最後は全員で声を合わせ（写真）「千の風になって」「大地讃頌」を歌いました。

ふるさと思い再会

ふるさと普代会（中野健治副会長、会員184人）の平成19年の総会と集いが10月28日、東京都千代田区の九段会館で開かれました。

集いには会員ら78人が出席。総会では18年度の事業報告や決算、19年度の事業計画、予算を満場一致で承認しました。役員改選では新会長に中野健治副会長が決まりました。

総会終了後の懇親会（写真）では、年に1度の再会を喜び合い、各テーブルでは近況報告などに花が咲いていました。また昨年に続きオークションが行われ、益金23,500円が村に寄付されました。



「メタボリックシンドromeを防ごう」と題して健康講演会が10月11日、役場大會議室で開かれました。講演会には約50人が参加。県立久慈病院の医師や栄養士ら6人を講師に、生活習慣病予防についてお話しを聞きました。講師らは「メタボリックシンдромは生活習慣病の第一歩です。食生活では①あまいものの②アルコール③油の『3つのあ』に気を付け、日常生活では体を動かすようにしましょう」と訴えました。

